

## ●横浜正金銀行本店

国立銀行条例に準拠した横浜正金銀行は、中村道太を初代頭取として、明治三十三年（一八八〇）二月、南仲通に開業した。同三七年に本店社屋が完成、大正期には「世界三大為替銀行」のひとつに数えられた。

震災当日、銀行の建物は崩壊しなかったが、付近に火災が次々と発生、行員約百人、職員約四〇人、避難住民約二百人は、地下室に避難し、難を逃れた。銀行前の広場にいた避難住民は、その多くが焼死、その数は一四〇人に上る。震災でドーム部分が焼け落ちた。

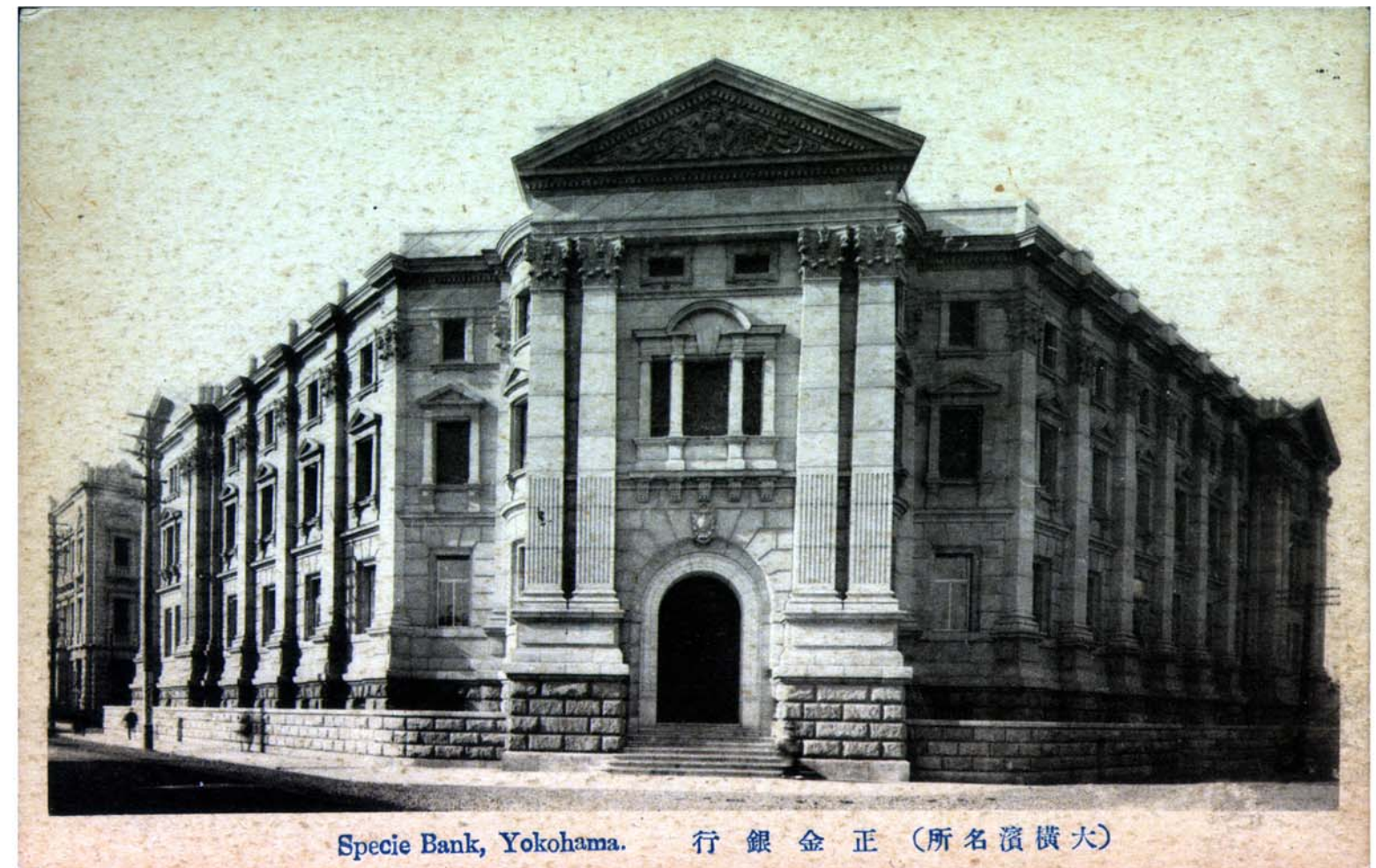
第二次世界大戦後は、「東京銀行横浜支店」として再出発した。焼失したドームを復元し、昭和四二年、神奈川県立博物館（現・神奈川県立歴史博物館）として開館。昭和四四年には、国の重要文化財に指定されている。



震災前：絵葉書「横浜正金銀行 Bank. Specie(ママ)ie Yokohama.」



震災：絵葉書「(大正12.9.1.横濱大震災) 横浜正金銀行猛火に包まれたる実況  
The great earthquake and fire of Yokohama.」



復興：絵葉書「(大横濱名所) 正金銀行 Specie Bank, Yokohama.」